

平和とくらしを守り 区民によりそう区政に!

「戦争法案反対」の訴えをする区議団
(5月31日 北千住駅西口)



区議団ニュースNo.171

足立区議会は改選後初の議会(第2回定例区議会)が開かれました。日本共産党は平和とくらしを守り、公約実現を前面に掲げて奮闘。さっそく各分野で前進を勝ちとることができました。

公約実現に全力

日本共産党

大震災の教訓から提案・前進

感震ブレーカーの助成

東日本大震災や阪神淡路大震災では発生した火災の6割以上が電気起因すると言われ、これを防ぐには揺れを感じて電気を止める「感震ブレーカー」の設置が有効です。

日本共産党区議団は2012年、議会で初めて設置助成を求め、その後も繰り返し要求。区は、今回初めて「設置助成について、早期に制度設計を進める」と答弁しました。

行き止まり避難路確保へ

「木造密集地域の多い足立区では袋小路における『2方向以上の避難路』確保が人命を守ることに」と、昨年の決算特別委員会以来繰り返し「行き止まり道路対策」を提案。

今回の代表質問で区は、「区内には1000本の行き止まり道路がある」「避難路確保は重要な視点」「年内に対策を講じるための支援策を検討する」と答弁、前進しました。

学校環境整備も改善

特別教室エアコン設置

区は学校の理科室や美術室などの特別教室のエアコン設置を拒否し続けていました。

今年度、新たに設置する場合に東京都が補助をする制度ができたことから、区議団はこの制度の活用による実現を迫りました。区は「普通教室のエアコンリース契約が切れる再来年度までに新たな設置計画をつくる」と初めて前向きな答弁をしました。

トイレの洋式化

トイレは洋式でないとい入れないという児童・生徒が増えていますが、洋便器化率が3割以下の学校が62校と深刻です。

区議団は洋式化が急がれる中、年間2校の改善では不十分と追及。区は「今年度は保全工事と改築工事で5校の洋便器化を実施。小破修繕として10か所の洋便器化に取り組み、おいを防げる『ドライ化』も進める」と答弁しました。

待機児解消へ

保育所の第一次不承諾は2022名、待機児が昨年同様322名と重大です。認可保育園の抜本的増設抜きに待機児の解消はありません。今回区は、「保育施設の整備にあ

たっては区有地、都用地の活用を図る」「都税事務所跡や都建建て替え用地も聖域なく対象にする」と答弁。認可保育園を増やす基礎となる姿勢を示しました。

「よく聞かせる」磁気ループ設置実現

区民から提出された「磁気ループ設置に関する陳情」が実り、今議会から本会議および委員会の傍聴に際し、磁気ループが利用できるようになりました(利用の詳細は、お問い合わせください)。

みなさんと力あわせがんばります

区議団の役職と所属委員会は次のように決まりました

氏名・役職	所属する委員会と役職
区議団長 ぬかが和子	議会運営委員会 総務委員会(副委員長) 待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会
幹事長 鈴木けんいち	議会運営委員会 文教委員会(副委員長) 災害・オウム対策調査特別委員会
政調委員長 はたの昭彦	区民委員会(副委員長) 交通網・都市基盤整備調査特別委員会
副幹事長 浅子けい子	建設委員会 エリアデザイン調査特別委員会(委員長)
副幹事長 針谷みきお	厚生委員会 エリアデザイン調査特別委員会
区議会議員 西の原えみ子	産業環境委員会(副委員長) 災害・オウム対策調査特別委員会
区議会議員 山中ちえ子	厚生委員会 待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会(副委員長)
都議会議員・政調副委員長・都市整備委員 大島 よしえ	

くらしの相談は

日本共産党足立区議団
(3880)5770

日本共産党

足立区議団ニュース

2015年第2回定例区議会報告

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 ぬかが和子
編集責任者 浅子けい子

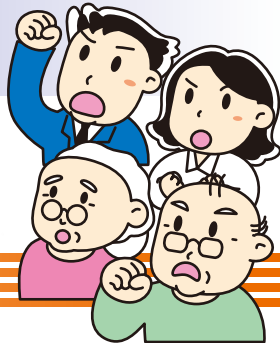
みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

区民の願いに背をむける

自民党 公明党 近藤区政



負担軽減には見向きもせず 開発の旗振り役に

日本共産党は、新しい議会で公約実現めざし区民の願いを区政に届けてきました。その中で、自民・公明がささえる近藤区政の反区民ぶりが浮き彫りになりました。

ため込んだ1190億円と 区民の負担軽減

区は、ため込んだ基金を介護保険・国民健康保険・保育料の負担軽減に活用することについては拒否する姿勢です。

32階建ての高層ビル建設

千住では、32階建ての足立区で一番高くなる高層ビルの建設を、トポスの土地を買収した特定企業の思惑によって、旗振り役として進めようとしています。

新たに議会に託された12の請願・陳情いつきにつぶす

今議会では、30もの区民の切実な請願・陳情が提出されました。しかし、今回は12の請願・陳情がたった一度の審議で不採択になってしまいました。日本共産党はこの不採択となったすべての請願・陳情について、区民の声をいかすべきだと反対討論に立ちました。

請願・陳情	共産	自民	公明	民主
戦争につながる安全保障関連2法案の廃案を求める意見書提出についての陳情	○	×	×	○
国に対し「集团的自衛権の行使を具体化する安全保障関連法案を廃案にすることを求める意見書」を提出することを求める請願	○	×	×	○
集团的自衛権の行使等を容認する閣議決定を撤回し関連法律の改正を行わない事を求める意見書を衆議院及び参議院に提出する陳情	○	×	×	○
原発は再稼働ではなく全原発の廃炉を求める陳情	○	×	×	○
学校給食等の放射性物質検査を求める陳情	○	×	×	×
学校・保育園給食の食材の放射能測定を求める陳情	○	×	×	×
放射線測定器の区民への貸し出しについての陳情	○	×	×	○
放射能測定器の貸し出しを求める陳情	○	×	×	○
無料放射能健康診断と医療補償を求める請願	○	×	×	×
被ばく検査費用の助成を求める陳情	○	×	×	×
足立区の放射能汚染対策についての陳情	○	×	×	×
足立区放射能汚染の除染基準を高さ50cmから地表5cmに引き下げることを求める陳情	○	×	×	×

公園トイレ

・放射能給食検査

また、放射能測定で子どもたちの給食に安心を、公園トイレは減らすのでなく増やし、きれいで入りやすいトイレに改善をという訴えには背を向けて否定しました。

国保の外部委託

―新たな法令違反の疑義

さらに、全国に例を見ない戸籍事務の外部委託は「是正が完了した」と開き直り、凍結していた国民健康保険の丸ごと委託に踏み出そうと特定企業に1億7000万円余の「サービス設計してもらう」予算を執行。新たな労働者派遣法違反、官製談合防止法違反、地方自治法違反の疑義も生じ、追及されるとともに答弁ができませんでした。

今年が正念場

区は、国の誘導によって学校だけでなく住区センター、地域学習センター、橋梁やインフラを含む全ての公共施設の統廃合につながる「足立区公共施設等総合管理計画」の策定にいいよ今年から本腰を入れ、合わせて自治体の憲法ともいえる「基本構想」の改定にも今年度取り組むとしています。

足立区の将来像をどう描くのか、区民の暮らしを守る区政への正念場の年が今年です。日本共産党は引き続き区民のみなさんと力を合わせて区民生活応援の区政となるよう頑張っています。



「戸籍業務の外部委託」訴訟の第一回口頭弁論に参加した区議員(6月1日 地裁前)

戦争法案と自衛隊への名簿閲覧

自治体の長は「憲法の遵守義務」があります。日本共産党は区長に「安全保障法制(戦争法案)は憲法違反でないか」と迫りましたが、区長は一言も見解を述べる事が出来ず、若者を戦場に送ることにつながるかねない18歳・26歳の名簿の「自衛隊への抽出閲覧」について、「今後も続ける」と宣言しました。

学校選択制 統廃合にも変化

学校選択制については、この間地域から「絆が壊れてしまう」など見直しを求める声が続いていました。

今回、小学校で平成30年度の入学者から、選択可能な範囲を、原則として隣接学区までとする改正が決まりました。

また、日本共産党は地域と子どもたちを傷つける強引な学校統廃合について、一貫して撤回を求めてきました。

区は、江北・鹿浜地域の統廃合はいままでの強硬姿勢を変えないものの、「人口動態のデータを改めて分析」し、平成21年に策定したガイドラインを見直すと初めて答弁しました。

大学病院設置など力合わせ

議員連盟結成

改選後の初議会では、他党との一点共同が進みました。議会では、共産党の態度に民主党が請願・陳情でほぼ同じ歩調をとり、無所属の一人の議員は議案についても共産党と全く同じ態度でした。

また、いままでも一致点で力を合わせて、全会派で「オウム対策」「鉄道高架化」「地下鉄8号線」の議員連盟が作られて促進してきましたが、今回あらたに「大学病院誘致」の議員連盟が誕生しました。

「転居・家賃交渉迫られる」

―生活保護の住宅扶助―
切り下げで緊急申し入れ



申し入れする区議員(6月30日 区役所内)